

学校教育目標	「みんな花笑み」 「知」 主体的に考え粘り強く取り組む子を育てます。 「徳」 自分を大切にし、互いの違いを認め合える子を育てます。 「体」 心身ともにたくましく生きていく子を育てます。 「公」 まちを愛し、人とつながり、ともに創造する子を育てます。 「開」 広い視野をもち、自分の思いをのびのびと表現する子を育てます。			
	創立 2 周年	学校長 若山 京子	副校長 臼井 亮司	2 学期制 一般学級: 16 個別支援学級: 4
学校概要	児童生徒数: 503 人 主な関係校: 菅田中学校、羽沢小学校			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	菅田中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
自分で考え、判断し、行動する力	菅田中学校 羽沢小学校 菅田の丘小学校	<p><習得した知識を活用して課題解決できる子> <互いに表現し合い、自分の考えを深める子> <自ら行動し、粘り強く取り組む子></p> <p>○小中職員が一同に会する研修会等を実施し、小中の理解を深める。 ○「9年間で育てる子ども像」を見据えた授業研究会を実施し、小中の連携を深める。 ○菅田中ブロックの特色を生かした独自教科の創設に向けて推進する。</p>

中期取組目標	<p>○子ども一人ひとりが安心して生活し、笑顔あふれる学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの子をよくみとりやる気を引き出し、わかる喜びできる喜びを実感させられる授業づくりに努めます。 ・仲間と関わる楽しさを感じながらお互いを尊重し合えるようにします。 ・心身ともにたくましく生きていく子を育てるための活動を充実させます。 ・まちや人とのつながりを大切にしながら仲間やまちを愛する心を育てます。 ・広く社会のことを考えたり、未来を創造したりできるよう豊かな体験活動や人とのコミュニケーションを充実させます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善	①朝のスキルタイムや短時間授業を中心に、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る学習に取り組むとともに、言語活動のヒントになる掲示物を作成、掲示し、「話す・聞く」を意識した環境づくりを行います。話し合う活動を意図的に設定するとともに、話し合いの中で、自分の考えが「どのように変わったか」「どのように学んだか」を振り返る機会を大切に、自分の考えを深めたり広げたりする力を育みます。②見通しと振り返りを大切にした学習を展開し、子どもの「わかる・できる」思いを大切にするとともに、粘り強く学習に取り組む姿勢を育みます。③ICT機器を学習の中で積極的に活用し、子どもの学びを高めます。
担当 教育課程・評価	
徳 豊かな心	①運営委員会を中心とした「花笑み運動」を引き続き行い、あいさつを増やしたり、互いの頑張り認め合ったり、尊重し合ったりする風土づくりをすすめます。②異学年交流や幼保小、地域との交流活動を積極的にすすめ、他者理解を深め、自己肯定感・自己有用感を育みます。③人権意識を高めるために、道徳の時間はもとより、様々な教育活動において、自他を大切にしている心づかいや態度を育てる取組を行ったり、集会活動を行ったりします。
担当 人権・道徳	
体 健康教育	①養護教諭、栄養職員の専門性を生かし健康教育・食育の推進を行います。学校保健委員会等を通じて、全校児童一人一人が生活習慣を見直したり、健康な生活について考えたりできるようにします。②体育的活動において発達段階に応じた指導を行うとともに、運動委員会の運動集会や運動に触れる機会を設定し、子ども達の体力の向上を図ります。
担当 体育・食育教育推進・保健	
公開 SDGs	①「生活」「総合的な学習の時間」を中心に、地域から学ぶ機会を意図的・計画的に設定し、子どもたちのまちを愛する心を育み、地域に貢献したり、よりよい未来を創造したりする子を育てます。②自分の生活が様々な場面でSDGsにつながっていることを知り、持続可能な社会のために行動しようとする子を育てます。
担当 研究推進・SDGs	
自分作り	①活動のゴールを明確にし、それに向かい自分の思いを伝えたり、仲間の意見を共感的に受けとめたりする子を育てます。②異学年交流の機会を充実させ、下の学年の子に優しく接したり、上の学年の子を見てなりたい自分のイメージをもったりできるようにします。
担当 研究推進・キャリア	
特別支援教育	①児童一人一人の特性や困り感を全職員で共有し、外部の専門機関とも連携して、よりよい支援を組織的に行います。②ユニバーサルデザインの視点を大切にした授業や環境づくりを学校全体で実践します。③だれもが安心して生活できるよう、一人一人の特性を理解し、それに応じた指導・支援を行っていきます。
担当 特別支援・児童指導・安全指導	
児童生徒指導	①菅田中ブロックスタンダードや学校のきまりについて全教職員で共通理解し、同じ視点で指導をしていきます。②地域・家庭・外部の専門機関と連携し、子どもの規範意識やモラル向上を目指します。③YPアセスメントを活用し、必要なプログラムを実施するなど、誰もが安心して学校に通うことができる学校風土をつくります。
担当 特別支援・児童指導・安全指導	
いじめへの対応	①学校生活のあらゆる場面でいじめ防止の視点を子どもたちに与え、定期的にアンケートを取ったり、教育相談を行ったりして、いじめの早期発見・早期解決・未然防止に努めます。②いじめ防止対策委員会を毎月行い、情報共有を徹底し、迅速かつ組織的に児童・保護者に対応します。③研修を行ったり、外部機関と連携を図ったりし、教職員の意識や指導の向上に努めます。
担当 特別支援・児童指導・安全指導	
地域学校協働活動	①地域コーディネーターの活動や地域ケアプラザとのつながりを職員と共有することで、連携をさらに深め、地域の力を児童の学習支援、活動支援に活かす教育活動を推進していきます。②学校運営協議会や小中ブロックの取組から見てきた児童生徒の実態をもとに、小中9年間を通して身に付けさせたい力を育てる取組を推進していくとともに、独自教科の策定に取り組みます。
担当 教務部	
人材育成・組織運営(働き方)	①全員が人材育成担当という視点で、校外研修での学びの共有を継続し、一人の学びを全体に広げていきます。また、年次研修やメンター研修では、必要感や課題に即した計画的な研修になるよう取組んでいきます。②ICT活用や業務の外部委託を今後も継続し、教職員の負担軽減を目指していきます。また、日課の工夫だけでなく、会議や行事の在り方の見直しから、さらにゆとりある働き方ができる職場を目指します。
担当 教務部	